

海域ワーキンググループの検討項目および関連事項の経過

海域管理計画策定にあたっての科学的立場からの助言を目的として2005年（H17）年6月に設立。委員は桜井座長を含む8名。
（赤字は会議以外の関連事項等）

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2005（H17）年7月（5日）	H17年度第1回会合	・H16年度知床海洋生態系概要調査結果について ・H17年度知床海棲哺乳類回遊調査について ・IUCNの評価結果について	・各委員の紹介 ・世界自然遺産に推薦するに当たり漁業が持続可能なものであること、生態系に与える影響が最小限であることを明確に示す事が重要となったが、これまで漁業と海生哺乳類の関係が不明という簡題があったため、漁業の現況、海生哺乳類の概況、および漁業と海獣の関係に関して調査の紹介および検討がなされた。
2005（H17）年7月（14日）	第29回世界遺産委員会	世界自然遺産登録	関連勧告事項 遺産地域の海域部分の境界線を海岸線1kmから3kmに拡張するための手続きが法的に確定した段階で、地図当を世界遺産センターに送付すること。 登録後2年以内に、海域管理計画の履行の進捗状況と遺産地域の海洋資源の保全降下について評価するための調査団を招くこと。 2008年までに完成させる海域管理計画の策定を急ぐこと。その中で海域保全の強化方策と海域部分の拡張の可能性を明らかにすること。
2005（H17）年8月	H17年度第2回会合	・知床海域に関する文献調査結果について ・海域管理計画のデザイン案について	世界遺産委員会勧告へ対応するため、海域管理計画の内容について検討。策定に向けた作業を集中的に実施。
2005（H17）年12月	H17年度第3回会合	・海域管理計画のデザイン案について	
2006（H18）年2月	H17年度第4回会合	・海域管理計画のデザイン案について ・調査モニタリング項目の検討	
2006（H18）年7月	H18年度第1回会合	・海域管理計画素案について ・調査・モニタリング項目について	
2006（H18）年10月	H18年度第2回会合	・海域管理計画素案について ・食物連鎖図の検討	
2007（H19）年1月	H18年度第3回会合	・海域管理計画素案について ・順応的管理について	
2007（H19）年3月	H18年度第4回会合	・海域管理計画素案について ・説明資料（資料編）について	
2007（H19）年6月	地元説明会	・海域管理計画素案について羅臼、斜里両町で桜井座長出席のもと説明	
2007（H19）年7月	H19年度第1回会合	・素案の地元説明会の報告 ・海域管理計画原案及び説明資料（資料編）の策定	
2007（H19）年9月	パブリックコメント	・海域管理計画素案のパブリックコメントを実施	
2007（H19）年10月	地域連絡会議	・計画原案（修正案）を説明し、計画案として了承	
2007（H19）年12月（19日）	多利用型統合的 海域管理計画策定		
2007（H19）年12月（25日）	H19年度第2回会合	・海域管理計画の英訳について ・IUCN現地調査の実施予定及び委員への出席依頼	・当初目的の海域管理計画が策定されたことから、今後当WGで行っていくべきことについて検討・ ・現在行われている科学委員会でのモニタリングの議論を踏まえ、計画に位置付けている調査・モニタリングを含め、計画の推進状況を把握し、平成24年度の計画見直しに際しては必要に応じ所要の変更をする（その後、概ね5年ごとに見直し）こととし、設立目的を「海域管理計画」の推進状況及び見直しに対する科学的立場からの助言とし、次回科学委員会へ提案することとなった。
2008（H20）年2月	IUCN現地視察	調査団への説明資料 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h19/shiretoko_H1902_shiryo1-2.pdf 調査団の調査結果 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h19/shiretoko_H1902_shiryo1-1.pdf	・H17年7月の第29回世界遺産委員会における知床へ対する決議に基づき、海域管理計画の策定状況や遺産地域の海洋資源の保全の効果、その他の勧告事項への取り組み状況などを評価するための調査団招聘（2月19日から22日までの4日間） ・調査団員はユネスコ世界遺産センター次長のキショール・ラオ氏およびIUCN保護地域事業部長のデビッド・シェパード氏

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2008(H20)年7月	第32回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h20/shiretoko_H2001_shiryo1-2.pdf	関連決議事項 ・更なる保護の層を加える観点から、国際海事機関(IMO)と共に、遺産地域の海域について、特別敏感海域(PSSA)の指定について検討すること ・管理計画は、海域管理計画に含まれているように、目的と管理戦略についてのみ概説するのではなく、活動内容、成果、客観的に検証することのできる指標を明確にした行動につながるものにすべきである。また、計画は様々な実行機関が分担する責任と役割を明確に示すとともに、計画実行のための時間枠を詳細に示すべきである ・遺産の管理計画を見直し、包括的な遺産管理計画として完成させること。その中には、多利用型海域管理計画を含むその他の個別の計画を全て統合すべきである。この管理計画にはさらに、サケ科魚類、エゾシカ、スケトウダラ、トド、オオワシなどの指標種の管理など、全ての鍵となる管理事項とエコツーリズムについて記述されるべきである ・漁業資源の持続的な生産も含む、海洋の生物多様性の持続的な生産力を確保するための、海洋の生息地の範囲内での禁漁区を含めた地域に即した保全地域の特定や指定、取組を検討すること ・資源利用の問題、特にスケトウダラの持続可能でない漁獲について、長期的な解決策を見つけるとともに、科学的な情報の定期的な交換のため、ロシア連邦との間で始められた協力を継続すること ・遺産地域内の持続的な保全のための適切な管理措置の実施と、遺産地域の海域の外側における外部の団体との協力的な措置によって、2つの指標種(スケトウダラとトド)の個体数の減少傾向という問題に取り組むこと
2008(H20)年11月	科学委員会地元報告会開催	・大森司委員長+3座長参加	
2009(H21)年1月	H20年度第1回会合	・海域管理計画定期報告書について ・モニタリングについて	・2008年分の作業中のものを報告、2008年以降、毎年定期報告書が作成されることとなる。
	2009(H21)年度の会合開催はなし		
2011(H23)年1月	保全状況に対する中間報告提出		定期的な連絡の一環として、勧告への対応状況に関する中間報告を提出。
2011(H23)年2月	H22年度第1回会合	・多利用型統合的・海域管理計画の見直しについて ・適正利用・エコツーリズム検討会議からの報告 ・海洋生物多様性保全戦略について ・海域管理計画定期報告書について	・海域管理計画はH19に策定、H24年度までとしていることからH23年度から見直しのための検討を開始 ・山村現座長が特別委員として初出席
2011(H23)年7月	H23年度第1回会合	・第1期多利用型統合的・海域管理計画の評価について ・第2期多利用型統合的・海域管理計画の内容について ・長期モニタリング計画について	
2012(H24)年1月	保全状況に対する本報告提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h23/shiretoko_H2302_shiryo2-2.pdf	報告の構成 前文 本文: 中間報告に図表、コラムを追加 別添 1: 知床世界自然遺産地域管理計画 2: 知床半島エゾシカ保護管理計画 3: 知床半島世界自然遺産地域 多利用型統合的・海域管理計画 4: 河川工作物の改良結果と効果について 5: 知床生態系維持回復事業計画の策定について 6: 知床五湖における取組み 7: 長期モニタリング計画(案)及び別表
2012(H24)年2月	H23年度第2回会合	・多利用型統合的・海域管理計画の見直しについて ・長期モニタリング項目の評価指標及び評価基準について ・海域管理計画定期報告書について	
2012(H24)年6-7月	第36回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h24/shiretoko_H2401_shiryo2-3.pdf	関連決議事項 ・当該国にトドの年間捕獲割り当て数及び捕獲数の情報のアップデート及び資産内の個体数の動向を報告するよう要請(request)。
2012(H24)年7月	H24第1回会合	・海域管理計画の見直しについて ・これまでのWGの検討経過について ・第1期海域管理計画の評価について ・第2期海域管理計画の内容について ・海域モニタリング計画について	・第1期計画について、11の調査対象に係る個別評価とそれらをまとめた横断評価、総合評価として取りまとめ評価することとした ・第1期計画の評価をもとに地球温暖化を含む気候変動、生態系と生物多様性、および社会経済について強化した第2期計画とすることを確認
2013(H25)年3月	第2期多利用型統合的・海域管理計画策定		H25第1回WGで「素案」を報告後、ML上の議論を受けて一部修正した上で素案を決定。その後、パブリックコメントを実施し、地元説明会(斜里、羅臼)を開催するとともに地元4漁協へ説明会を行い、ML上で一部修正後に案を決定。

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2013(H25)年6月	H25年度第1回会合	・第2期多利用型統合的海域管理計画のモニタリング項目について ・社会経済の評価について ・モニタリング項目の評価について	
2014(H26)年2月	H25年度第2回会合	・第2期多利用型統合的海域管理計画のモニタリング項目の評価について ・知床世界自然遺産地域長期モニタリング計画に係る評価について ・海域管理計画定期報告書について	
2014(H26)年7月	H26年度第1回会合	・平成25年度海域管理計画モニタリング項目評価について ・長期モニタリング計画に係る評価について ・第36回世界遺産委員会決議事項について ・知床海域の現状等の報告	
2015(H27)年1月	第36回世界遺産委員会に係る保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h26/kasenap_H2602_shiryo1.pdf	
2015(H27)年2月	H26年度第2回会合	・平成25年度海域管理計画モニタリング項目の評価について ・平成25年度長期モニタリング計画モニタリング項目の評価について ・平成25年度海域管理計画定期報告書について ・第36回世界遺産委員会決議にかかる保全状況報告について ・知床海域の現状等の報告	
2015(H27)年7月	第39回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kaiiki_wg/h27/seawg_H2701_shiryo3-1.pdf	関連決議事項 ・日本海や資産内におけるトドの健全な個体群を維持するための締約国の努力に留意し(notes)、資産内及びより広域な海上景観において安定～増加するトドの個体数を維持するために、採捕上限頭数を定期的に点検・調節するよう、強く勧める(urges)。
2015(H27)年8月	H27年度第1回会合	・平成26年度海域管理計画モニタリング項目評価について ・長期モニタリング計画に係る評価について ・第39回世界遺産委員会決議事項について ・知床海域の現状等の報告	
2016(H28)年2月	H27年度第2回会合	・平成26年度海域管理計画モニタリング項目の評価について ・平成26年度長期モニタリング計画モニタリング項目の評価について ・平成26年度海域管理計画定期報告書について ・知床海域の現状等の報告 ・根室海峡におけるロシアトロール漁船によるスケトウダラ漁業情報入手に係る要請書について	
2016(H28)年8月	H28年度第1回会合	・平成27年度海域管理計画モニタリング項目評価について ・長期モニタリング計画にかかる評価について ・第2期海域管理計画の見直しについて ・第39回世界遺産委員会決議事項について	
2016(H28)年11月	第39回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kaiiki_wg/h28/seawg_H2802_shiryo5.pdf	
2017(H29)年2月	H28年度第2回会合	・平成27年度海域管理計画モニタリング項目の評価について ・平成27年度長期モニタリング計画にかかる評価について ・平成27年度海域管理計画定期報告書について ・第2期海域管理計画の見直しについて ・第39回世界遺産委員会決議事項について	
2017(H29)年7月	第41回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h29/kasenap_H2901_shiryo3.pdf	関連決議事項 ・資産内に季節的に来遊するトドの絶滅危惧亜種の駆除について、締約国が順応的かつ予防的なアプローチにコミットしていることを評価して留意し、その上で締約国に対し、信頼できる年間採捕上限数の設定にはデータ及び手法面での多大な課題があることに照らし合わせ、同種の駆除を再考するよう勧奨する(urges)。 ・締約国に対し、トドの個体群の保護を確保するために、漁業の管理について近隣の締約国と連携することを奨励する(encourages)。
2017(H29)年8月	H29年度第1回会合	・平成28年度海域管理計画モニタリング項目評価について ・長期モニタリング計画項目評価について ・第3期海域管理計画の策定について ・第41回世界遺産決議事項について	
2018(H30)年2月	H29年度第2回会合	・平成28年度海域管理計画モニタリング項目の評価について ・平成28年度長期モニタリング計画モニタリング項目について ・平成28年度海域管理計画定期報告書について ・第3期海域管理計画について ・第41回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告について	
2018(H30)年3月	第3期多利用型統合的海域管理計画策定		

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2018(H30)年8月	H30年度第1回会合	・平成29年度海域管理計画モニタリング項目評価について ・長期モニタリング計画項目評価について ・モニタリング項目の整理について ・第41回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告について	
2018(H30)年11月	第41回世界遺産委員会に係る保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h30/kasenap_H3002_shiryo1.pdf	
2019(H31)年3月	H30年度第2回会合	・平成29年度海域管理計画モニタリング項目の評価について ・平成29年度長期モニタリング計画モニタリング項目の評価について ・平成29年度海域管理計画定期報告書について ・モニタリング項目の整理について ・第41回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告について	
2019(R1)年7月	第43回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kaiiki_wg/r01/seawg_R0101_shiryo3-1-1.pdf	関連決議事項 ・日本とロシア連邦がロシア内のトド繁殖地において実施した共同調査、及び両国による、本亜種の管理に資する個体群動態モデルの開発計画を歓迎し、結果が提供可能になり次第、世界遺産センターに提出するよう要請する(request)。 ・鰯脚類による継続中の沿岸漁業被害の報告、及び、非致命的対策が被害削減にまだ効果を発揮していないという結論に留意し、当該国に、漁業被害軽減における効果の観点から駆除継続の正当性の説明を要請し、本亜種に関する正確で包括的なデータはまだ欠如していることを考慮し、管理のためにそうしたデータが提供されるまでは予防アプローチに基づいて、トドの現在の駆除レベルを見直すよう強く促す(urge)。 ・管理計画及び多利用型統合的海域管理計画においてトドのモニタリングや管理の詳細が欠如していることに懸念を持って留意し、当該国に、確実に、これらの文書がさらに強化され、トド個体群管理に対して予防的アプローチを反映したものとなるよう要請する。
2019(R1)年8月	R元年度第1回会合	・平成30年度長期モニタリング計画・海域管理計画モニタリング項目の評価について ・長期モニタリング計画の評価項目の評価について ・第43回世界遺産委員会決議について	
2020(R2)年2月	R元年度第2回会合	・平成30(2018)年度長期モニタリング項目評価調書(案)・資料集(案)について ・平成30(2018)年度海域管理計画定期報告書(案)について ・長期モニタリング計画の評価項目の評価について ・第43回世界遺産委員会決議の対応について	
2020(R2)年7月	R2年度第1回会合	・令和元年度(2019年度)長期モニタリング項目評価調書(案)について ・長期モニタリング計画 評価項目の評価シート(イメージ) ・第43回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告(案)について	
2020(R2)年11月	第43回世界遺産委員会に係る保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kaiiki_wg/r02/seawg_R0202_shiryo4.pdf	
2021(R3)年2月	R2年度第2回会合	・令和元年度(2019年度)長期モニタリング項目評価調書(案)・資料集(案)について ・令和元年度(2019年度)知床世界自然遺産地域多利用型統合的海域管理計画定期報告書(案)について ・長期モニタリング計画 評価項目の評価シート(イメージ)(案)について ・第43回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告について	
2021(R3)年7月	第44回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/r03/shiretoko_R0301_shiryo3-1.pdf	関連決議事項 ・日本とロシア連邦の締約国間で行われているトドの個体群調査のための継続的な協力を歓迎するが、しかしながら個体群のデータが欠如したままの状態継続されているトドの駆除に対する懸念を再度表明し、当該国に、個体群管理に資するために、可能な限り個体群動態モデルの開発を加速するよう強く促す(urge)。 ・本亜種に関する正確で包括的なデータが利用可能になるまで、国際的な助言を考慮し、予防アプローチを採用し、トドの個体群に対する現在の駆除レベルを見直し、必要に応じて縮小または中止することを当該国に再度強く促す。
2021(R3)年7月	R3年度第1回会合	桜井座長から山村座長へ交代 ・令和2年度(2020年度)長期モニタリング項目評価調書(案)について ・長期モニタリング計画に係る評価項目の評価シートについて ・次期長期モニタリング計画に係る評価項目について	
2022(R4)年3月	R3年度第2回会合	・令和2年度(2020年度)長期モニタリング項目評価調書(案)について ・令和2年度(2020年度)知床世界自然遺産地域多利用型統合的海域管理計画定期報告書(案)について ・長期モニタリング計画に係る評価項目の評価シートについて ・次期長期モニタリング計画に係る評価項目について	
2022(R4)年7月	R4年度第1回会合	・長期モニタリング項目評価調書(案)について ・第4期知床世界自然遺産地域多利用型統合的海域管理計画の策定について ・第2期長期モニタリング計画に係るモニタリング項目等について ・第44回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について	
2022(R4)年11月	第44回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/r04/kasenap_R0402_shiryo1.pdf	

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2023 (R5) 年2月	R4年度第2回会合	・知床世界自然遺産地域科学委員会海域ワーキンググループ設置要綱の改正について ・知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画定期報告書(案)について ・第4期知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画の策定について ・知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて	
2023 (R5) 年3月	第4期多利用型統合的の海域管理計画策定		
2023 (R5) 年6月	第45回世界遺産委員会	知床の決議 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/r05/shiretoko_R0501_shiryo3-1.pdf	関連決議事項 ・漁業への影響を含め、トドが管理基本方針に沿って管理されてきたこと、個体群動態の調査が進行中であることに留意するが、しかしながら個体数データが存在しないままトドの採捕が続いていることを改めて懸念し、当該国に、2024年の管理基本方針の改定に反映させるため、個体群動態モデルの開発を引き続き加速するよう強く促す(urge)。 ・必要に応じてIUCN種の保存委員会に協議し、トド西部亜種に関する正確で包括的なデータが利用可能になるまで、予防的アプローチを採用し、現在の本亜種の採捕レベルを再考、削減または必要に応じて廃止するよう当該国に再度強く促す。 ・本資産に関する2012-2021長期モニタリング計画 (LTMP) の総合評価報告書に留意し、登録以降、一部の海鳥類の個体数が半減したと報告されていることに懸念を表明するとともに、海鳥類の個体群がOUVの重要な属性であることを想起する。 ・また、2023年度末までに予定されているLTMPの改定と、それにクライテリア(x)の生物多様性の属性が含まれることを歓迎し、水生生物多様性、特にサケ科魚類、海鳥類及び海生哺乳類が確実にすべて含まれ、モニタリングされるために、資産のOUVの属性をLTMPに完全に確実に反映するよう当該国に改めて要請し、改定された最終的なLTMPを世界遺産センターに提出するよう当該国に要請する(request)。 ・生物学的変数のモニタリングを含む2019年のミッション勧告に対する当該国の継続的な対応に留意し、当該国に以下の継続を奨励する(encourage)。
2023 (R5) 年7月	R5年度第1回会合	・長期モニタリング項目評価調書(案) について ・知床世界自然遺産地域管理計画 見直し検討について ・第2期長期モニタリング計画に基づく総合評価について	・第2期長期モニタリング計画において海域ワーキンググループが担当するモニタリング項目について、調書の記載内容の検討及び最新のデータに基づく評価を実施。
2024 (R6) 年2月	R5年度第2回会合	・知床世界自然遺産地域科学委員会海域ワーキンググループ設置要綱の改正について ・知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画定期報告書(案)について ・第4期知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画の英訳版について ・知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて ・第2期長期モニタリング計画・総合評価手法について ・第45 回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告について	・第4期知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画の英訳版の内容確認、検討。 ・知床世界自然遺産地域管理計画の見直し案について、海域WG所管部分の確認、検討。 ・第2期長期モニタリング計画に基づく総合評価案について、海域WG所管部分の確認、検討。 ・第45回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告のトドに関する回答作成に係る作業方針の確認並びに海鳥に関する回答素案の確認、検討。
2024 (R6) 年8月	R6年度第1回会合	・知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画定期報告書(案)について ・第45回世界遺産委員会決議に係る対応について ・気候変動に対する順応的管理戦略について	・第2期長期モニタリング計画において海域ワーキンググループが担当するモニタリング項目について、調書の記載内容の検討及び最新のデータに基づく評価、第45回世界遺産委員会決議に係る対応内容確認、気候変動に係る順応的管理戦略の確認等を実施。
2024 (R6) 年11月	第45回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/r06/kasenap_R0602_shiryo1.pdf	
2025 (R7) 年2月	R6年度第2回会合	・知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画定期報告書(案)について ・第45回世界遺産委員会決議に係る対応について(報告) ・気候変動に対する順応的管理戦略について	・第2期長期モニタリング計画における海域ワーキンググループ担当項目について、調書の記載内容の検討及び最新データに基づく評価を行った。 ・第45 回世界自然遺産委員会決議で指摘のあったトドの採捕数や海鳥の減少に関する事項について、海域ワーキンググループを中心に検討を行った回答案を、「保全状況報告」としてユネスコ世界遺産センターへ提出したことを報告。